

「大西きよ先生のご生涯～満面笑みを湛えて～」

姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」

(テサロニケ人への第一の手紙 5 章 16～18 節)

救いから献身へ。1896(明治 29)年 8 月 15 日、横浜の酒家に生まれ、22 歳で結婚、1 年 4 ヶ月で主人が病のため永眠。自身も病を得て茅ヶ崎南湖院に入院中に周囲の信者方に誘われ、キリスト教の集会に出席し求道。そして、キリストの救いに与り、望みもなく悲しみのどん底から、にわかに喜びの生涯に変えられ、受洗。退院後、自宅で子どもの集会を開き、献身を願うようになる。反対していた家族から、切なる願いにやむなく許され、伯父の家より淀橋の聖書学院に聴講生として 1 ヶ年余り通学。その後、落合の柘植不知人師の許に導かれ修養中、弟の病気のために一時帰宅。1923 年(同 12)5 月に活水学院に再入学。1924 年(大正 13)9 月 1 日に按手礼を受ける。1925 年(同 14)9 月に京都基督伝道館にヘルパーとして遣わされ、1927 年(昭和 2)5 月に飯田基督伝道館に迎えられ、同年 11 月に姫路基督伝道館に変わり、1928 年(同 3)8 月まで止まり、東京本部に引き上げ、1929 年(同 4)10 月まで奉仕。その後、再び京都に遣わされ、1932 年(同 7)11 月に、お手伝いのつもりで姫路に来たまま、1960 年(同 35)11 月広畑伝道所開設まで、末永弘海牧師の許に 28 年余り副牧師として奉仕。なお、京都では佐伯看病婦学校の寄宿舎に、姫路では小国産婆養成所の寄宿舎に舎監として生徒と共に起居する。

広畑の開拓と教会設立。1947 年(昭和 22)より 13 年間、飾磨区英賀に毎週出張伝道(小林米一兄宅)。1960 年(同 35)11 月 13 日付「広畑伝道所」を開設(姫路福音教会の株分)、主任担任教師に就任。日本基督教団の開拓伝道 E 方式で 1961 年より 6 年間援助を受ける。1961 年(同 36)10 月広畑の現在地を購入、1964 年(同 39)4 月新会堂建築に着手、12 月中旬に完成し移転、1965 年(同 40)1 月 17 日に献堂式を挙げる。1967 年(同 42)2 月 1 日付「広畑教会」(第二種教会)を設立。1971 年(同 46)暮に増築工事(会堂二階)を完成。

1974 年(同 49)2 月 6 日に末永弘海牧師がご召天。3 月 10 日に姫路福音教会で広畑教会と合同記念礼拝を守り、大西きよ先生が説教をされる。その後、胃癌が判明し聖マリア姫路病院で手術を受けられ、経過良好でしたが様態が急変し、6 月 3 日にご召天(77 歳)。その直前に冒頭聖句を広畑教会員へ遺言される。

死の危険から三度免れる。1. 1935 年(昭和 10)夏、貧血で 50 日間病床に伏される。一

切を主にお任せし心は平安で、主のお召しを待ち望んでいた時、にわかに「我は世の終わりまで常に汝と共にあるなり」との聖声と共に、蚊帳の外に手を伸ばせば聖衣の裾に触れるような主の臨在を感じ、夜の更けるままに随と膏でもてなされる如く賛美と感謝で一睡もせず、翌日には癒しの業が成され、日毎に元気を回復された。2. 広畑へ出張伝道中、西飾磨駅で電車から降りた時、誤ってホームと電車の間に落ち込み線路の上に倒れたが、動きかけた電車が止まり死を免れた。3. 戦時中、空襲があった頃、毎週月曜日に福崎の柳沢菊代牧師の許に通っていた。ある時、予定の時間に乗り遅れて残念に思いながら次の汽車に乗ったところ、前の汽車に敵機の襲撃があり、負傷者があった事を聞き、主に守られた。

生涯の秘訣～ 従順～。1. 落合聖会で「我を愛するなら我が小羊を飼え」と御霊に強く迫られた。自分の無力を知ってこの尊い使命を果たし得るかと不安になって尻込みをしていた時、“お前が働くのではない、唯命令のままに従えばよいのだ”との示しを受け、主の召しに与ったことを確認され、唯“御旨のままに”と決心されて生涯を全うされた。2. 大西先生が広畑伝道所の牧師として出発された時、姫路福音教会の担任教師を兼牧され、同教会から8千円の手当を3年間戴かれる予定で喜んでおられた。しかし、末永牧師が神様に祈られ“神様より、それを当てにするといけないので、会堂のために献げ、初めから自給でしなさい。”と言われた。その時、大西先生は“ちょうど腰掛けていた腰掛けを壊されてしまった”ようにびっくりされたのですが、その通りに献げられ、人もお金も当てにせず、神様ご自身を当てにすることの素晴らしさを体験された。（広畑教会が今日あるのはこのような大西先生の祈りと働きがある）。

最後に。大西先生は満面笑みを湛え、いつも愛に溢れ、接する方々に豊かな慰めと励ましを注がれた。その秘訣は自我に死に、聖霊に満たされて歩まれた結実であることを覚え、主を崇めます。

（姫路あけぼの教会）